

令和３年度 稲沢市地域自立支援協議会 第１回就労支援部会 議事要旨

[日 時] 令和３年５月１１日（火）午後２時～午後３時

[場 所] 稲沢市役所 第１分庁舎 ２階 第３会議室

[出席者] 就労支援部会委員 ７人、事務局 ３人

[欠席者] 就労支援部会委員 １人

[議 事]

１ 協議事項

(１) 障害のある方の就労の現状について

・一般就労の状況について

○令和３年３月１日から法定雇用率が引き上げになり、民間企業の雇用率が 2.2 から 2.3 になった。それに伴い、障害者雇用事業主の範囲が従事者 45.5 人から従事者 43.5 人以上になった。

○コロナの状況で生産活動が大変。すろ一ふさんにお世話になっているケースもある。今年も特別支援学校から １名の採用ができた。今年の部会活動は難しい部分もあるかと思うが、趣旨に沿った活動ができるようにしたい。

○例年 ８月に、ハローワークと商工観光課で雇用促進キャンペーンを実施して未達の企業 ５か所程度を訪問しているが、昨年度はコロナで中止にした。平和地区が津島ハローワークの管轄なので津島と連携して平和でもやってみてはという話も出ている。今年実施できるかわからないが、進めていこうと思う。

○昨年度、特別支援学校の ３年生は全員進路が決定し無事に卒業した。学校も明日から緊急事態宣言で行事が見直しとなる。49 人の生徒が卒業し、うち 11 人が一般就労した。業種は製造や物流が中心。製造 ３人、物流 ２人、特例子会社はサービス業で ２人、小売りと飲食が各 １名、お弁当の工場内の運搬と、病院内の患者向け食の調理補助、病院清掃 １人。建築に １名進んだが、これはハローワークを通じて、保護者の知り合いのところできっかけがあったもの。現在の ３年生は 39 名で少ない。うち 7 人は一般就労希望で実習している。明日から緊急事態宣言だが、実習は 6 月 14 日の予定で、そこまでに収束すればと思っている。前回の 1 月は、宣言中だったが、企業と学校、保護者の ３者の合意があれば進めて良いという県の通達があり、実施できた。今回も延長があってもそういう形になるかもしれない。

○スロープではコロナの影響で定着訪問ができない企業があったが、さほど影響なく想定するより落ち込むことなくできた。昨年度の就職件数は 78 件、就職率 86.7%。実際コロナで企業の仕事が減り結果として給料が減って転職になったケースがあったが、企業も工夫されて雇用を担っていただいている。物流も多いが、介護業界なども求人が出ている。コロナの影響があると思われるが原因不明で、体調に異変や出社できないという方も何人かいた。移行支援事業所へつないで考えていくケースもある。今仕事を頑

張っている方も障害に関係なく精神的に不安定になるのか、不調を訴える方があった。求人は、現状それなりに新しい求人も出ている。

○現状は、毎年企業へ 20 人ほど就職されている。令和 2 年度はコロナの影響もあり就職 16 名。実際、休職していて復職された方が 5 人。合わせて 21 人。明日からの宣言を受け、事業所として 2 部制で午前と午後で分けてやっていく。例年に比べると就職が減っているが、休職後、復帰までに利用される方がある。コロナ禍ならではのともいえる。就職は物流系や軽作業が一番多い。

○製造業で障害者が働くのが難しいという先入観がある中で模索してやってきた。障害者雇用を始めて 20 年以上になるが、短時間からフルタイムまで 13 人いる。昨年、特別支援学校から入った子もいるが、年長の方では 50 歳近い。年齢的に能力が下がることがあり今後どういう対応していこうかと思っている。働くことで存在価値を感じられ幸せを感じられるのであれば働く場所を提供していくことが経営者の責任ではないかと思っている。できるだけ多くの企業に障害者雇用が広がるようにと思っている。

・福祉的就労の現状について

○福祉的就労については、清掃業務を B 型事業所に依頼していたが、コロナで自粛ということでお休みになった。施設ごとの判断ということかと思う。週に 1 度の掃除が楽しみという方はどうされているのかと思った。また明日から宣言で来てもらえなくなるなどと思っている。

○障害福祉計画について、昨年度までの計画である第 5 期計画は、平成 29 年度に掲げた目標に対して令和元年度までの実績は目標を達成できた。具体的には福祉施設から一般就労への移行者数について、目標 18 人に対して令和元年度は 20 人であった。前回の計画からの変更点としては、福祉施設から一般就労への枠は細分化され、就労移行支援からだけでなく A 型事業所や B 型事業所から一般就労へ進むことも推進し、目標設定をしていく。就労定着支援についても重点化されている。

○第 5 期計画の令和元年度実績からすると、ほぼ移行支援事業所からの就職と思われる。今回の第 6 期計画の目標値がそんなに変わっていない。数年後の目標として大きくなるのはコロナの影響などを考慮されているのか。

○国の指針で、それぞれ的人数から何割以上というものがあるので、これを計算して出している。コロナで減らしたのではなく、国の指針で出した。数値としては令和元年度にクリアしている。継続支援事業所から就職される方が少ないのでどう啓発すべきかが課題と考えている。

○A 型や B 型事業所が定着支援事業をやっていくことを進めていくこともあるか。

○現在、定着支援事業所自体がないので、1 つでも設置できるようにと考えている。どのように啓発を進めればよいか検討課題と考えている。

○事業所連絡会は、就労支援事業所間のネットワークのため、2 か月ごとに実施している。市内の就労支援事業所は 18 か所あり、A 型が 4 か所、B 型が 13 か所、移行支援 2 か

所（うち、移行と B 型を兼ねている事業所が 1 か所）。昨年度は移行支援事業所 1 か所が B 型へ移行した。4 月の連絡会では、報酬改定について議題とした。B 型は、月の平均工賃に応じているが、1 万円～5 万円の事業所の評価が下がった。市内のほとんどの事業所が 1 万円未満の状況で、報酬が下がる事業所が出ると思われる。A 型は 1 日の平均労働時間で評価されていたが、その他の評価項目が入る。評価項目に該当する事項がクリアできると報酬も上がる。事業所間で意見交換し、A 型事業所の中で、長年利用者として働いた方を職員として採用した事業所があった。一方で、一般就労の希望が出ないため意識づけが必要な事業所もあった。コロナにより、カフェやパン販売の売り上げが減り、事業所のレクリエーション活動ができないなど影響が出ている。

(2) 継続課題について（昨年度の報告等）

- 例年行ってきた企業のための見学会事業について、昨年度はコロナの影響により中止した。代わりに、企業への啓発チラシを作成し、商工会議所さんの協力で、4 月の商工会議所ニュースへ挟み、企業約 2,000 社へ送付した。企業からの問い合わせ等は今のところない。

(3) 今年度の活動について

- 昨年度作成したチラシについて、問い合わせがないのは残念だが、自分たちで情報を取ってもらっているなら良い。チラシ自体に気付かないようなら残念。商工会議所から委員に参加されているのでチラシを入れたというアナウンスができる場があると良い。商工会議所と相談していきたい。見学会の実施は難しいと思うので、コロナ禍でもできることをやっていきたい。どんなことができるか案を出してもらいたい。私自身は実際に見て知るということが分かりやすいと思うので映像化できたらいいかなと思う。皆さんの仕事やら経験でこんな形でなら、というのを今月末締め切りで出していただきたい。
- 最近のコロナで来客を断る時期もあった。皆さん御存知のようにリモート的な営業とかがある。最初はできるかなと心配があったが、画面の中でもいろいろ表現しやすい面はある。集まって移動して、行くという時間的なロスがなくなる。良い面があるなと思った。それと、部会活動がリンクするかわからないが、リモートで企業の問い合わせに答えられるような対応ができないかなと思う。たとえばうちが企業として受け入れるために必要なことについては回答ができる。そこにすろーぷさんとかが一緒にコメントしていただいて、支援していただいていることを活発に話していただくことが必要になるが、そんな活動もできるのではないかなと思う。
- そういう具体的にどういう形にもっていく、というのを出してほしい。支援学校ではどういう発信をされているか。
- 生徒の個人情報パスワードがかかっており保護者だけが情報を見られるようにして

いる。不特定多数の方はみられない。県が用意している映像コンテンツがあり、実際に企業に見ていただき、具体的にどういう仕事をしているか見て、理解していただく。雇用されている企業で映像を取り、どこかの HP で情報発信できると良いと思う。

○その県の映像コンテンツはみられるか。

○一般の方は見られない。進路指導教員のタブレットに入っていて新規開拓の際に企業に見せている。子どもの承諾を取る等の必要はある。

○稲沢の部会としてできることを何かやりたい。次回 7 月の部会で整理したいと思う。

2 その他

○昨年度作成したチラシについて、そろ一歩で企業訪問している中で、精神の方を雇用して大変だったので雇用したくないという企業のために支援学校の実習を進めることがある。このチラシを活用して説明していきたい。また、木曽川のほうにある企業が、内職作業ができる事業所を探している。そこまで行ける事業所を探している。正直一宮市では工賃として高くないので B 型は受けないだろうという状況。高い収入は得られなさそう。見方を変えると生活介護を多機能でしている事業所は日中活動に持っていくことができるかなと思う。興味があるところがあれば情報提供をしたい。

○事業所への情報は事務局からメールで送ることができる。興味があれば連絡を取っていただくようにできる。生活介護をしている事業所は高い工賃より重度の方にもできる仕事をというところもあるのでマッチングできると良い。

○特別支援学校について休校にはなっていないが、行事は同窓会が中止。そのほか野外活動も中止など影響が出ている。少しでも子どもの思い出になるようにしたい。運動会も 5 月に予定していたが延期して予備日の 6 月に学年ごとに分けて実施する。関係機関は呼ばずに保護者のみの参加で実施する。プールについては密になるため今年度は中止。秋の文化祭も実施予定。学校見学は教室に入れないが、少人数なら校舎を少し案内する程度はしている。